

メッセージ

盛岡市は、恒久平和の実現に向け、すべての国において核兵器の廃絶と軍縮が推進されることを強く希求し、非核平和都市であることを宣言し、また、世界各国六千以上の都市で構成され国境を越えて核兵器廃絶を求める「平和市長会議」に加盟しているところです。

さて、平成二十三年の東日本大震災に伴う大津波で引き起こされた東京電力福島第一原発の放射能漏えい事故により、震災から三年四ヶ月となる今も、多くの方々が避難生活を余儀なくされ、平穏な生活を取り戻すに至っておりません。私たち日本人が経験した、広島・長崎への原子爆弾投下という痛ましい出来事に続き、放射能被害の脅威は、今なお、存在しているといえるでしょう。

戦争のない平和な世界の実現は、全人類共通の願いであり、私たち一人ひとりが国際社会の一員として、世界の人々との信頼関係を築いていくとともに、次の世代に核兵器の恐ろしさや戦争の悲惨さと平和の尊さを語り継ぎ、恒久平和を実現するため努力していかねばなりません。

この度、核兵器のない平和で公正な世界を実現するため、広島・長崎両市において原水爆禁止二〇一四年世界大会が開催されますことは、誠に意義深いものがあり、心から敬意を表しまして、メッセージといたします。

平成二十六年七月十日

盛岡市長 谷 藤 裕 明